

KEF REPORT 2023年度

創ろう、九州新時代
拓こう、アジアの新世紀



KYUSHU ECONOMIC FORUM.

九州経済フォーラム

KEFレポート 目次

KYUSHU ECONOMIC FORUM.
2023年度

01 トップメッセージ

トップメッセージ 九州経済フォーラム 会長 石原 進 2

02 事業報告

○2023年度事業一覧 3-6

○主要事業レポート

令和5年度 地域間交流懇談会in鹿児島

「九州・台湾クリエイティブウィークin薩摩川内」 7-9

03 寄稿

株式会社ecommit 代表取締役CEO 川野 輝之 氏 10

04 会員紹介～Origin・原点～

九州経済フォーラム 副会長

株式会社九州リースサービス 代表取締役社長 礒山 誠二 11

立命館アジア太平洋大学 学長 米山 裕 11

05 新規法人会員企業紹介

双日九州株式会社/株式会社トルビズオン 12

ミナミホールディングス株式会社/株式会社Fusic 13

ローカルフードサイクリング株式会社/株式会社エム・ワン・エンタープライズ 14

06 九州経済フォーラム役員一覧 15-16

2024年に入り早くも5ヶ月が過ぎました。ウクライナとガザの戦争や元日の能登大地震の発生など厳しい状況が続いておりますが、一方で株価は過去最高を記録しましたし、賃上げもあり、デフレの長いトンネルを抜け出す兆候が出てきた感じがします。こうした状態を本格的な成長に結びつけるには、持続的な設備投資と消費の活性化が必要です。我々は九州経済の自立的成長に向けてこの機会を活かさなければなりません。

幸い熊本に世界最大の半導体メーカーであるTSMCが1兆円をかけて建設していた工場が近いうちに稼働する予定であり、更にもう1つの工場の建設計画も進んでいます。半導体は多くの工程の分業により作られるため、関連の多数のメーカーが進出して来ています。雇用もTSMCの2工場で3,400人になるといいます。関連メーカーを入れると1万人を超える雇用が生まれます。不動産、資材、生活関連、教育等をはじめ経済効果は10年間で20兆円にのぼると言われています。

台湾は世界の先端半導体の90%を生産しています。21世紀はAI・ICT・ロボット・量子・Beyond5G・バイオ等、科学技術の時代と言われていますが、そのほとんどが半導体無しでは動きません。半導体は産業の米と言われています。

九州はかつて日本が世界の半導体50%のシェアを誇った頃のメイン生産地で、シリコンアイランドと呼ばれました。その後、日本は半導体の急速な技術進歩と生産方式の変化に乗り遅れ、現在は10%程度のシェアしか持っていません。

TSMCの進出は半導体の生産だけでなく、半導体を使った新しい産業育成により、活力ある九州づくりに取り組む千載一遇のチャンスです。また台湾は半導体ばかりでなく世界中で広く使われている製品のOEM生産をする「ものづくり大国」です。例を挙げればPOUCHENG（スポーツシューズ）、GIANT（自転車）、QUANTA（ノートパソコン）、FUSHENG（ゴルフクラブ）など誰でも知っている世界ブランド品を大量に生産しています。

ところで九州経済フォーラムは昨年11月中旬に薩摩川内市で「九州・台湾クリエイティブウィークin薩摩川内」を行いました。鹿児島県出身で現在はスタンフォード大の創薬医療分野で活躍中の西村俊彦氏と台湾大学名誉教授のChen-en Ko氏が中心となり“日本と台湾が産業創出で協力する体制をつくろう”ということで、第1回目を薩摩川内市で開催しました。田中薩摩川内市長をはじめ市の皆様には大変お世話になりました。台湾工業技術研究院（ITRI）上級副社長のPei-Zen Chang氏、TSMC上級副社長のLora Ho氏、名古屋大学教授の天野浩先生、シリコンバレーで活躍中のベンチャーキャピタリスト中村幸一郎氏らをはじめ多くの研究者、経営者、若手ベンチャー、行政関係の皆さまなどに多数ご参加いただき、密度の濃い3日間の大会となりました。2024年は10月16日、17日に第2回を福岡で開催することとしました。

台湾の人々は優秀で親日です。半導体をきっかけに多くの台湾の人々においでいただき、一緒に21世紀の地球をリードする地域づくりに邁進しましょう。



九州経済フォーラム
会長 石原 進

【4月】 守静坊 しだれ桜鑑賞会@英彦山（日時：令和5年4月4日(火)）

講師：(一財)徳積財団 副理事長 野見山 広明 氏

アーティスト 芦刈 純 氏

参加人数：20名



【5月】 第1回理事会・定期総会・特別講演（日時：令和5年5月30日(火)）

テーマ『ChatGPTが変えた景色。生成型AIをビジネスで活用するには？』

会場：グランドハイアット福岡

講師：株式会社Fusic 取締役副社長 浜崎 陽一郎 氏

参加人数：77名



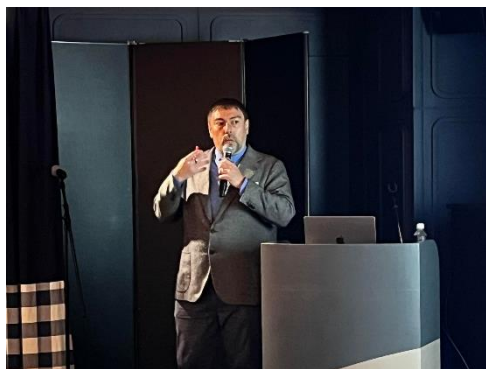
【7月】 第1回車座談義（日時：令和5年7月7日(金)）

テーマ『ドローンのビジネスインパクト』

会場：THE LIVELY 福岡博多

講師：DRONE FUND 共同創業者/代表パートナー 大前 創希 氏

参加人数：32名



02事業報告 ～2023年度事業一覧～

【7月】第8回産学官ダイアログ ※福岡県中経協連合会連携事業（日時：令和5年7月26日（水））

テーマ『トビタテ！世界へ』

会場：ソラリア西鉄ホテル福岡

講師：トビタテ！留学JAPAN エグゼクティブアドバイザー 兼

さとのば大学 副学長 船橋 力 氏

参加人数：62名



【8月】早朝会（第221回）（日時：令和5年8月30日（水））

テーマ『保育事業の今とこれから～就学前インターナショナルスクールの挑戦～』

会場：テノ・ホールディングス会議室

講師：株式会社テノ・ホールディングス 代表取締役社長 池内 比呂子 氏

参加人数：29名



【8月】「日本・GBA・ベトナム 企業スタートアップ連携」講演会 ※九州日本香港協会との共催事業
（日時：令和5年8月30日（水））

会場：九州大学伊都キャンパス 日本ジョナサン・KS・チョイ文化館

ゲスト：ジョナサン KS チョイ氏を含む新華集団

参加人数：104名



02事業報告 ～2023年度事業一覧～

【11月】第9回産学官ダイアログ ※福岡県中経協連合会連携事業（日時：令和5年11月1日(水)）

テーマ『30歳の僕が考える学校経営』

会場：八仙閣

講師：福岡女子商業高等学校 校長 柴山 翔太 氏

参加人数：65名



【11月】令和5年度地域間交流懇談会in鹿児島 「九州・台湾クリエイティブウィークin薩摩川内」
（日時：令和5年11月15日(水)～17日(金)）

会場：SSプラザせんだい

ゲスト：スタンフォード大学SLDDDRS 所長 西村 俊彦 氏

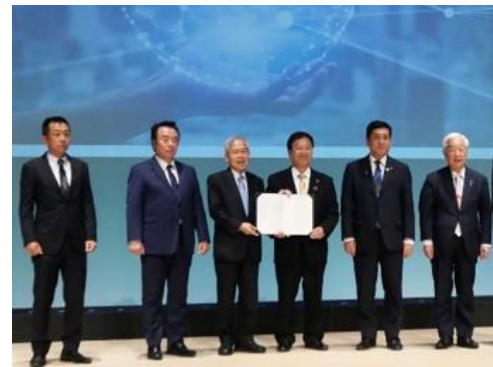
国立台湾大学 名誉教授 Chen-en Ko 氏

APAMAN株式会社 代表取締役社長 大村 浩次 氏

TSMC 上級副社長 Lora Ho 氏

Sozo Ventures シニア・マネージング・ディレクター Phil Wickham 氏 ほか

参加人数：3日間延べ715名



【12月】忘年例会（日時：令和5年12月11日(月)）

テーマ『半導体産業の再興に向けて』

会場：西鉄グランドホテル

講師：九州大学 名誉教授 安浦 寛人 氏

参加人数：60名



02事業報告 ～2023年度事業一覧～

【1月】服部県知事を囲む新年祝賀会（日時：令和6年1月12日（金））

会場：福岡県知事公舎

参加人数：161名



【2月】第2回車座談義（日時：令和6年2月22日（木））

テーマ『米国VCの視点から日本のスタートアップエコシステムについて考える』

会場：グランドハイアット福岡

講師：Sozo Ventures シニア・マネージング・ディレクター 中村 幸一郎 氏

参加人数：38名



【3月】第10回産学官ダイアログ ※福岡県中経協連合会連携事業（日時：令和6年3月25日（月））

テーマ『今なぜソーシャルイノベーションなのか？』

会場：八仙閣

講師：一橋大学 名誉教授

法政大学大学院 教授 米倉 誠一郎 氏

参加人数：47名



【11月】令和5年度 地域間交流懇談会in鹿児島 「九州・台湾クリエイティブウィークin薩摩川内」
 日時：令和5年11月15日(水)～17日(金)
 会場：SSプラザせんだい

九州経済フォーラムでは、令和5年11月15～17日の3日間に渡り、鹿児島の地で『九州・台湾クリエイティブウィークin薩摩川内』を開催した。本イベントは地域間交流懇談会in鹿児島として、THE TAIWAN KYUSHU実行委員会と九州経済フォーラムの共催で開催した。TSMC副社長やSozo Ventures共同創業者をはじめ、日・台・米の産官学金トップリーダーや研究者が一堂に会し、一歩踏み込んだ協働を模索した。本カンファレンスは初開催にもかかわらず、3日間延べ715名の方にお越しいただいた。

本記事では、全てを紹介することができないのが残念だが、ここでは3日間のハイライトを紹介させていただく。



▲「鹿児島県ビジョン」を発信する
 塩田・鹿児島県知事

<1日目>

薩摩川内市田中市長の開催地挨拶から本カンファレンスがスタートした。田中市長から「九州と台湾の経済交流促進」、「経済人材のネットワーク確立」、「鹿児島県や薩摩川内市の経済発展ビジョンのアピール」、「2030年SDGs、2050年カーボンニュートラル達成のための循環経済都市実現」の4点が力強く発信された。続いて、鹿児島県の塩田県知事から「鹿児島県ビジョン」が発信され、鹿児島の目指す姿を「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」とし、未来を拓く人づくり、暮らしやすい社会づくり、活力ある産業づくりに取り組み、これらの好循環を生み出していくことが打ち出された。

次の「戦略的人材育成について」をテーマにしたスピーチ&パネルトークでは、スタンフォード大学SLDDRS所長の西村氏がモデレーターとなり、鹿児島大学の佐野学長、国立台湾大学のChen-en Ko名誉教授など学界研究者の方々にご登壇いただいた。若者に多くのチャンスを与えられる体制づくりや、当事者意識を持った人材育成の必要性について議論された。

その後は「鹿児島のポテンシャルとこれから」をテーマに鹿児島縁の若手起業家4名にご登壇いただき、鹿児島の良さや課題について議論が行われた。議論の中では鹿児島にスタートアップエコシステムがなく、起業家が生まれにくいことが課題として挙げられた。その一方で、都市圏とは違い自然のエネルギーが大きく、人の温かさを感じることが鹿児島の魅力として挙げられた。「鹿児島から本社を移動する気はない」といった発言が印象的であった。



▲「鹿児島のポテンシャルとこれから」で
 スピーチを行う川野・ecommit代表取締役CEO



1日目の最後には、APAMAN株式会社の代表取締役社長大村氏によるキーノートスピーチ「終わりになき企業経営と学び」が行われた。企業経営で忙しい日々の中で学び続けることの大切さや、社会のために時間を使って行きたいという大村社長の心掛けに参加者から共感の声が上がった。

◀「終わりになき企業経営と学び」で
 スピーチを行う大村・APAMAN代表取締役社長



▲基調講演を行うLora Ho・TSMC上級副社長

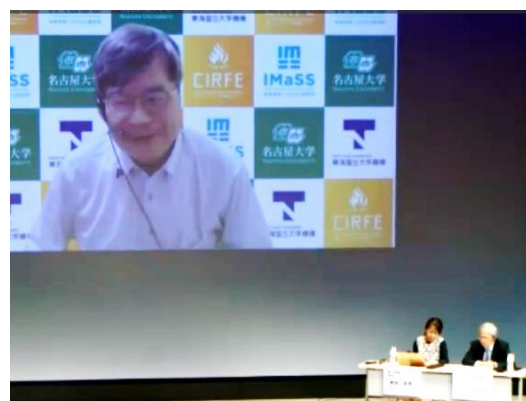
<2日目>

2日目は薩摩川内市田中市長による「サーキュラー都市ビジョン」に関する講演から始まった。SDGs未来都市にも認定された薩摩川内市が、持続可能な社会に向けて具体的にサーキュラーパーク九州事業などに取り組んでいく意気込みが発信された。

基調講演では、TSMC上級副社長Lora Ho氏にご登壇いただき「革新的なビジネス戦略とテクノロジーの進歩」をテーマにご講演いただいた。TSMCがコロナ禍においていかに柔軟に対応し、イノベーションを進めたのか、その積極的姿勢を伺うことができた。参加者はTSMCの社会貢献や九州経済の発展に胸を躍らせた様子であった。

「先端科学技術」のセッションでは、ノーベル物理学賞受賞者である名古屋大学の天野教授や早稲田大学の所教授にご登壇いただいた。科学技術分野のイノベーションを進める中でも、環境負荷の少ない資源の開発技術や資源循環が可能なサーキュラーエコノミーをモデルとしたリソーシング技術など、新たな社会に適応した科学技術の必要性を感じさせられるご講演であった。

「先端科学技術」でスピーチを行う天野・名古屋大学教授 ▶



<3日目>

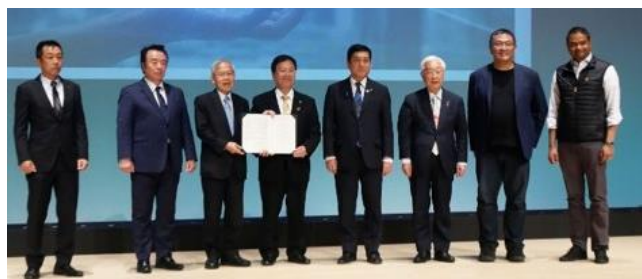
最終日となる3日目には、経済界で活躍されている方々を中心に台湾・九州の産業連携をテーマに講演が行われた。

「台湾から九州へ」のセッションでは、国立台湾大学のChen-en Ko名誉教授より、台湾と日本の比較を通じて産業連携していくことによりお互いを補い合って成長できることが示された。

◀「台湾から九州へ」でスピーチを行う
Chen-en Ko・国立台湾大学名誉教授

最後には「薩摩川内宣言」が行われた。スタンフォード大学SLDDRS所長の西村氏、薩摩川内市の田中市長、鹿児島銀行常務執行役員の坂之上氏、国立台湾大学のChen-en Ko名誉教授の間で宣言が行われ、エンドーズメントとして九州経済フォーラムの石原会長や塩田鹿児島県知事も宣言の場に立ち会った。宣言では「九州・台湾の産官学金など各層別連携の必要性和意義」「九州・台湾の各層別連携は相補的であること」「九州・台湾の連携を継続することの重要性」が確認され、薩摩川内市は「持続可能でより良い未来の実現に向けて飛躍すべく、成長志向で行動し続けること」を約束した。

総じて参加者は多様な視点から学び、議論することができ、新たな時代に向けて国境を越えた新しい連携の可能性を模索する非常に良い国際会議の場となった。



▲「薩摩川内宣言」が行われ、記念写真を撮影
石原会長は右から3人目



アジアでの国際資源循環を実現し 環境と経済を両立する社会を目指す

株式会社ecommit 代表取締役CEO 川野 輝之 氏



昨年は、地域間交流懇談会 in 鹿児島やThe TAIWAN Matching Hub in Satsumasendaiにご登壇させていただき、大変貴重な機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

鹿児島のポテンシャルについてディスカッションを行うことができ、また、素晴らしい経営者の方々やアジアでビジネスを展開される皆様と有意義な意見交換をさせていただきました。

当社は、薩摩川内市で創業した資源循環のインフラを実現する循環商社です。「捨てない社会をかなえる」ことを掲げ、大量生産・消費・廃棄の直線的なバリューチェーンから循環型の社会に変えていくことを目指しています。全国7箇所にて自社の循環センターを持ち、不要になったものを回収・選別・再流通しています。さらに、“ものの流れ”をデータ化する自社開発のトレーサビリティシステムにより、リユース・リサイクル率の算出や、CO2削減量のレポートニングまで行うことで、企業や自治体のサステナビリティ推進に向けたサービスを包括的に提供しています。

昨年より、新たな事業として資源循環サービス「PASSTO（パスト）」を開始しました。

「PASSTO」は、衣類や雑貨などの不要品を回収するボックスを設置することで暮らしに一番身近な資源循環の入り口をつくることができます。生活者の皆さまがより気軽に資源循環に参加できる場を提供することで、サーキュラーエコノミーの実現を目指すものです。

すでに「PASSTO」は全国の郵便局や商業施設、マンションなどにも導入され、PASSTOのスキームなどを活用した回収拠点は全国3,000カ所にも及びます。九州エリアでは、西日本鉄道株式会社が運営する各商業施設やミスターマックスなどの商業施設、鹿児島のイオンモールなどに導入されているほか、鹿児島県のとある自治体では地域全体にPASSTOの不要品回収ボックスを設置する動きが進んでいます。



資源循環サービス「PASSTO」

当社はこれからタイに事業所を拡大させ、アジアでの国際資源循環を目指しています。国内で流通し消費・廃棄されるものの多くが中国やASEAN諸国で製造されている今、アジアでの資源循環は欠かせません。ものづくりで世界をリードしてきた日本が、次は“循環型のものづくり”でもう一度世界をリードできるように、皆さまと新たな取り組みを推進したいと考えています。これからも、お力添えいただけますと幸いです。

座右の銘

「着眼大局 着手小局」

社会人となり、最初の配属先は営業でした。自分なりに高い目標を掲げ、それを達成することで大満足し、やり甲斐を実感し過ごした20代。

それが、30代となり、いきなり経験のない会社の中期経営計画を策定する企画部門への突然の転勤異動。ここで、大きな壁にぶつかりました。

それまで、半年ごとの個人営業目標達成に向き合ってきた自分が、唐突に会社全体の、3～10年の中長期的な経営計画策定に携わることに。

その時、出会ったのが、この「着眼大局 着手小局」です。まさに、目から鱗が落ちる思いでした。

広い視野を持ち、長期的な目標や戦略を考慮することを意味する**着眼大局**と、具体的な行動やタスクに集中することを意味する**着手小局**、この両方の視点をバランスよく持つことで、効果的な意思決定や目標達成が可能となることを、まさに、体現することができました。爾来、人生、仕事で難局にたったとき、これを座右の銘とし、努力しています。



株式会社九州リースサービス
代表取締役社長 礒山 誠二 氏

【夢中になっていること】

目先に留まらず、継続して健康的なライフスタイルを維持することに注力しています。日々の、筋トレ・ストレッチ、徒歩通勤、3種の健康サプリと5種の漢方薬に加え、時間を見つけてプール歩行も。健康寿命100歳を目指し、健康増進と健康経営に夢中です。

座右の銘

我ここに立つ。他になしあたわず。（ルター）

大学ではほとんどの事柄を会議で決めます。学部の教授会であれ、全学レベルの基幹会議であれ、執行部の作成した提案をめぐって議論をして、会議体での「承認」を求めています。運営がうまくいっている組織であれば否決に至ることはめったにありません。とはいえ批判的な意見が続出して「炎上」することはしばしば起こります。そのようなときに、提案する責任者が、共有された理念に基づく信念と適切な根拠をもって疑念や批判に答え、構成員の提案への理解を広める努力を丁寧にしていくことは、とても大事なことです。

マルティン＝ルターがローマ教会への批判を取り下げることを帝国議会で求められ、それを断ったときに述べたあまりにも有名な言葉です。世界史的契機となったルターの覚悟を自分に当てはめるのはおこがましいといつも思います。

しかし、自分が確信を持って提案をして、批判する人とは、よりよい組織の決定に向けてしっかりと議論を戦わせることが、組織のためには大切なことだと思います。自分を鼓舞するために、いつも頭の片隅に置いている言葉です。



立命館アジア太平洋大学
学長 米山 裕 氏

【夢中になっていること】

食べ歩きです。料理を作る人が、どんな想いを込めてそれぞれのお皿を出したのか、妻と一緒に話し合いながら食べます。サーブしてくれる方に感想を述べたり、食材や調理の工夫について質問するのが楽しみです。

双日九州株式会社

■企業紹介

九州にこだわり、九州にこだわらず、
九州と共に。

弊社スローガンは『結ぶ、こころ 結ぶ、ちから ~そして、世界へ』です。双日グループの企業理念である「誠実な心」で人々のこころ、企業、世界経済・文化を結びつけ、九州から世界への窓口を更に広げながら、地域社会の皆様と共に歩み続ける企業でありたいという想いが込められています。アジアをはじめとする世界各国と交易を深め、各分野での多様なニーズに適確に応えるとともに、地域に根ざし、地域のお客様に信頼され、地域社会の皆様の生活と産業の発展のため、双日グループの一翼を担う真の地域密着型総合商社として事業を展開して参ります。



双日九州株式会社



■代表紹介

代表取締役社長 香田 篤志

1980年日商岩井（現双日）入社。主に化学品・合成樹脂の事業に携わる。ドイツ/デュッセルドルフ、タイ/バンコク駐在を経て、2010年双日プラネット執行役、2018年に双日九州の社長に就任。高校卒業後40年ぶりの九州で公私ともに充実した日々。

■企業概要

- ・ 設立 1997年11月1日
- ・ 代表者 香田 篤志
- ・ 事業内容 総合商社
- ・ 従業員数 91名(M42・F49)
- ・ 本社所在地 福岡市中央区天神1丁目4-2
- ・ ホームページ <https://www.kyushu.sojitz.com>

株式会社トルビズオン

■企業紹介

九州から「世界中の空を利用可能にする」というミッションのもと、ドローンのための空路整備サービスを提供するスタートアップ企業です。

ドローンが空を飛び交う時代に向けて、ドローンを飛ばす人も飛ばされる人も理解し合った、真に自由な空の実現を目指して空路整備サービス【S:ROAD】を開発しました。

S:ROADには、空に「住所」を作り、空域に関する情報データベースと紐づける特許技術である「スカイドメイン®」が用いられています。

様々なシーンを想定した実証実験を行いながら、空のインフラを構築するため全国各地で空路開拓を進めています。



■代表紹介

代表取締役社長
増本 衛



■企業概要

- ・ 創業 2014年4月
- ・ 代表者 増本 衛
- ・ 事業内容 ドローン空路整備サービス
【S:ROAD】の開発・運用
- ・ 従業員数 5名
- ・ 所在地 福岡市中央区天神1-1-1
アクロス福岡 fabbit内
- ・ ホームページ <https://www.truebizon.com/>

ミナミホールディングス株式会社

■企業紹介

【人と事業を変身させ、この社会を感性で満たす】

創業60年を超える南福岡自動車学校を土台に業界最先端の様々な取り組みにチャレンジしてきました。学習から楽習への変換でエンタメ要素を盛り込んだアニメ型学科教材「DONDONドライブの開発」。働き手不足の課題を解決すべく東大発ベンチャー企業ジョイントで「AI教習所株式会社」の設立。「オンライン学科システム」の開発導入など。これまでの業界の固定概念を払拭し新しい教習所の在り方を自社で取り組みつつ、成功したモデルを全国の教習所業界へ提案し続けています。

その他にも培ったノウハウを世界へ展開すべくカンボジアへ教習所を設立。国内の新規事業としては社員の好き！から始まったサウナ事業、可能性を広げるためのCVC事業など「変身」をテーマに様々な事業を展開しています。



■代表紹介

代表取締役社長 江上 喜朗



1981年 福岡県生まれ。

東京理科大学卒業

ミナミホールディングス代表取締役社長としてグループを率いる。

著書「スーツを脱げ、タイツを着ろ」

Forbes JAPAN SMALL GIANTS AWARD 2021-2022

特別賞「ローカルヒーロー賞」受賞

■企業概要

- ・創業 1956年2月
- ・代表者 江上 喜朗
- ・事業内容 指定自動車教習所の運営
教習所コンサルティング事業
海外支援事業・AI教習車開発
サウナ事業等
- ・従業員数 178名
- ・本社所在地 大野城市下大利3丁目2-20
- ・ホームページ <https://minami-hd.co.jp/>

株式会社Fusic

■企業紹介

Fusicの社名は、「Fusion of Society, IT & Culture」の頭文字を由来としています。社会とITの架け橋となり、常に新しいテクノロジーで世の中をアップデートしていきたいと考えています。

当社は、クラウドコンピューティング、ソフトウェア開発やデータ解析などの分野で豊富な実績を持ち、様々な業界のクライアントに対し最適なソリューションを提供しております。特に、企業の業務効率化や新規事業開発をサポートするためのシステム開発に強みを持ち、顧客のビジネス目標達成に向けて全力で取り組んでいます。また、最近では人工衛星データ活用に関する技術的な研究開発活動にも取り組んでいます。

今後も、積極的に新たな技術分野、産業に進出し、地域のみならず、日本、世界に貢献できる企業となるよう一層精励してまいります。



■代表紹介

代表取締役社長 納富 貞嘉



九州大学大学院在学中にFusicを設立。

創業以来福岡に本社を置き、2023年3月に東証グロース市場、福証Q-Boardに上場。今後も積極的に新たな技術分野に進出し、テクノロジーの恩恵を享受できる社会を目指していきます。

■企業概要

- ・創業 2003年10月10日
- ・代表者 納富 貞嘉
- ・事業内容 Webシステム開発
AI・機械学習
IoTシステム開発
クラウドインフラ（AWS）
自社プロダクトの提供
- ・従業員数 98名（2024年3月末日時点）
- ・本社所在地 福岡市中央区天神4丁目1-7
- ・ホームページ <https://fusic.co.jp/>

ローカルフードサイクリング株式会社

■企業紹介

土から野菜をつくり、また土へ。
コンポストは暮らしの食循環です。
暮らすことは消費すること。私たち自身が少しでも生産に参加することができたら、生ごみが減り、地球の負担も減っていく。当社が製造販売しているLFCコンポストは、ベランダで生ごみを堆肥に変えられる都市型のコンポストです。LINEサポート付きで初めての方でも安心してコンポストに取り組んでいただけます。私たちは生ごみからの食循環を大切に活動を行っています。毎日の食卓に安全な野菜がのぼる暮らしを実現するため、持続可能な栄養の循環を半径2km単位で全国につくることを目指します。そのために生ごみコンポストとコミュニティガーデンを軸としたしくみをつくっていきます。



■代表紹介

代表取締役
平 由以子（たいら ゆいこ）

平成9年 コンポスト活動開始
平成16年 NP0法人循環生活研究所を設立
現、循環生活研究所理事
生ごみ資源100研究会主宰
NP0法人日本環境ボランティアネットワーク理事
生ごみ焼却ゼロプラットフォーム共同代表など



■企業概要

- ・創業 2019年10月3日
- ・代表者 平 由以子
- ・事業内容 コンポストの製造、販売
- ・従業員数 6名
- ・本社所在地 福岡市東区香住ヶ丘6丁目12-3
- ・ホームページ <https://lfc-compost.jp>

株式会社エム・ワン・エンタープライズ

■企業紹介

【共存共栄、価値創造】

当社は会社創立以来、企業理念に「共存共栄、価値創造」を掲げ、変化する社会情勢の中「物と組織を最大限に活用できる経営」を精一杯かつ真摯に進めて参りました。

これもひとえに皆様のご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。激変が続く昨今の社会情勢において急激なグローバル化、高度な情報通信ネットワークの進展など 経営環境の変化は従来のスピードを大きく超え、ますます不確実な時代を迎えつつあります。我々は柔軟な考えを持つ企業体質を維持しつつ、これからも日本と中国・東南アジアの架け橋となりますように新しい技術と情報をお客様と共有して新たな価値を創造してまいります。

今年創立20周年、これからも社員一丸となり邁進してまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



■代表紹介

代表取締役社長 劉 玲



■企業概要

- ・創業 2004年3月
- ・代表者 劉 玲
- ・事業内容 システム開発
国際貿易
教育ビジネス
- ・従業員数 32名（2023年3月時点）
- ・本社所在地 福岡市博多区対馬小路13-26
クレセントビル4階
- ・ホームページ <https://www.emuwani.co.jp/>

06九州経済フォーラム役員一覧

役員

KEF・役職別・五十音順/敬称略(2024.6.1現在)

KEF役職	氏名	企業・団体名	役職
会長	石原 進	九州旅客鉄道株式会社	特別顧問
会長代行	貫 正義	九州電力株式会社	相談役
副会長	池内 比呂子	株式会社テノ、ホールディングス	代表取締役
副会長	磯山 誠二	株式会社九州リースサービス	代表取締役社長
副会長	甲斐 隆博	株式会社肥後銀行	代表取締役会長
副会長	小林 専司	(一社) 福岡県中小企業経営者協会連合会	会長
副会長	高宮 俊諦	株式会社タカミヤ	代表取締役会長
副会長	田中 亮一郎	第一交通産業株式会社	代表取締役社長
副会長	右田 聖秀	西日本電信電話株式会社	執行役員 九州支店長
副会長	米山 裕	立命館アジア太平洋大学	学長
副会長	龍造寺 健介	本多機工株式会社	代表取締役社長
常任理事	荒木 知哉	全日本空輸株式会社	福岡支店長
常任理事	梅林 秀伍	梅林建設株式会社	代表取締役社長
常任理事	古賀 正博	(一社) 福岡県中小企業経営者協会連合会	事務局長
常任理事	篠崎 和敏	株式会社JTB	執行役員 ツーリズム事業本部 九州エリア広域代表
常任理事	柴田 建哉	株式会社西日本新聞社	代表取締役社長
常任理事	白川 敬	TOTO株式会社	代表取締役副社長執行役員
常任理事	鷹見 昭人	トヨタ自動車九州株式会社	コーポレート本部 統括部長
常任理事	富永 泰輔	株式会社福岡運輸ホールディングス	代表取締役社長
常任理事	沼野 良成	西部ガスホールディングス株式会社	取締役常務執行役員
常任理事	根本 浩二	株式会社NTTドコモ	執行役員 九州支社長
常任理事	東 俊明	日産自動車九州株式会社	取締役常務執行役員
常任理事	吉田 泰彦	株式会社福岡銀行	顧問
理事	秋山 哲志	大日本印刷株式会社	情報イノベーション事業部 西日本CXセンター長
理事	泉原 博行	株式会社西日本シティ銀行	取締役常務執行役員
理事	今井 俊之	株式会社日本経済新聞社	専務執行役員 西部支社代表
理事	太田 禎郎	株式会社ホテル日航福岡	代表取締役社長
理事	尾崎 真一	三井不動産株式会社	九州支店長
理事	木戸 啓人	九州電力株式会社	常務執行役員
理事	坂口 光一	(一社) イドビラキ／九州大学	代表理事／名誉教授
理事	繁竹 治顕	(公財) 九州国立博物館振興財団	専務理事
理事	白水 ルリ子	(福) 宝満福社会	理事長
理事	筒井 俊英	英進館ホールディングス株式会社	代表取締役社長
理事	縄田 真澄	(公財) 九州経済調査協会	理事長

06九州経済フォーラム役員一覧

KEF・役職別・五十音順/敬称略(2024.6.1現在)

理事	原 正	(一財)九州オープンイノベーションセンター	常務理事
理事	二又 茂明	久留米運送株式会社	代表取締役 C E O
理事	古宮 洋二	九州旅客鉄道株式会社	代表取締役社長執行役員
理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社	代表取締役社長
理事	光山 慎二	株式会社九電工	上席執行役員
理事	森 慎二	西日本鉄道株式会社	執行役員
理事	矢野 健	安全産業株式会社	代表取締役
理事	吉田 茂視	株式会社メモリード	取締役会長
理事	吉村 広志	麻生商事株式会社	専務取締役
常務理事	岡部 知寛	株式会社ティーアンドイー	代表取締役社長
常務理事	後藤 太一	リージョンワークス合同会社	代表社員
常務理事	戸嶋 太一	中央地所株式会社	代表取締役社長
常務理事	中尾 賢一郎	株式会社グランドビジョン	代表取締役
常務理事	増田 成泰	増田石油株式会社	代表取締役社長
常務理事	柳瀬 隆志	嘉穂無線ホールディングス株式会社	代表取締役社長

監事

監事	西川 勲	九州日観植物株式会社	代表取締役会長
監事	柳井 雅人	北九州市立大学	学長

相談役・顧問・名誉会員・参与

相談役	橋田 紘一	株式会社 S U M I D A	代表取締役
相談役	長谷川 裕一	株式会社はせがわ	相談役
顧問	大山 慎介	日本銀行 福岡支店	支店長
顧問	中澤 亨	財務省 福岡財務支局	支局長
顧問	苗村 公嗣	経済産業省 九州経済産業局	局長
顧問	水木 祐一	株式会社日本政策投資銀行 九州支店	支店長
顧問	森戸 義貴	国土交通省 九州地方整備局	局長
顧問	吉永 隆博	国土交通省 九州運輸局	局長
名誉会員	廣崎 靖邦	(学)博多学園	顧問
参与	小田 真由美	鹿児島県 福岡事務所	所長
参与	杉本 達哉	宮崎県 福岡事務所	所長
参与	平川 暢教	大分県 福岡事務所	所長
参与	淵脇 拓之	熊本県 福岡事務所	所長

KEF REPORT 2023年度

KYUSHU ECONOMIC FORUM.
九州経済フォーラム「令和ビジョン」

ひと！感動九州



創ろう、九州新時代。拓こう、アジアの新時代。



KYUSHU ECONOMIC FORUM.

九州経済フォーラム